

平成30年度 学校評価結果報告書

学校法人 常盤学園 常盤幼稚園

当園ではこの度、平成30年度の幼稚園学校評価として、教職員の自己評価及び学校関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直す機会となりました。また、評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に

I. 教育目標

<ul style="list-style-type: none"> ●自分から進んで挨拶ができる子どもに育てよう ●何でも「よく聞き・よく考えて」行動できる子どもに育てよう ●人間関係が作れる子どもに育てよう <p>あいさつは心の窓、社会性を伸ばす第一歩です。自分から進んで「おはよう・こんにちは・さようなら」と言うことで人に心を開いて、お互いの人間関係を作っていく「きっかけ」ができるでしょう。そこから、友だちとの関係が作られていきます。</p> <p>子どもたちは、友だちと絵を一緒に読んだり遊具などを使って一緒に遊んだりする中で、遊ぶ順番や貸し借りで時にはケンカしたり仲直りをしたりしていきます。そのなかで一緒に楽しく遊ぶにはルールがあること、物事には順番があることなどをゆっくり理解して欲しいと願っています。</p> <p>そして、楽しく遊ぶためのルール作り、遊びの約束などを、自分たちで作れる子ども達に育ててほしいと願っています。</p>
--

II. 今年度の重点目標

教育環境の構成	研究への取り組み	安全管理体制の整備
---------	----------	-----------

III. 評価項目と取り組み状況

評価項目		取り組み状況	
1	教育環境の構成	異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成を行っている。	B <ul style="list-style-type: none"> ・園庭やホールにサーキットを用意することで、異年齢の幼児達が自然に交流ができ、運動能力向上にも繋がった。 ・延長保育や戸外遊び等で異年齢児と関われる環境を作り、一緒に遊べるようにすることができた。 ・他学年のクラスの作品や音楽、体操活動の練習の様子を見せることにより、子ども達に次の学年への期待をもたせることができた。 ・延長保育によって、低年齢児の世話や異年齢と遊ぶなど、普段とは違う意識を醸成することができた。 ・一緒に戸外に出て、園全体でサーキット遊びに取り組むことで、年長児が低年齢児に対して優しく手を差し伸べ、関わる姿が見受けられた。
2	研究・研究への取り組み	研修を終了した教職員が、研修内容を発表する機会を設けるなど、成果を共有する仕組みを構築し、機能させる。	B <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議で、研修で学んだことを知らせたり、実際にクラスで実践することができた。 ・研修で学んだことを保育室で実際に取り組むことができた。楽しみながら取り組む幼児の姿が見られた。 ・全体の会議で研修内容やまとめたレポートを共有した。さらに良い内容はすぐに取り入れ、実践できるように用具や遊具を用意した。 ・研修での学びを日々の保育に取り入れ、そのクラスで起こった気づき・発見を共有することができた。又、研修の中で度々取り上げられている可視化についても注力することができた。
3	安全管理体制の整備	事故の発生を未然に防ぐために、園内の危険箇所や危険な遊び方などについて、職員間で話し合う機会を設定する。又、今以上に保護者の方々にも取り組み内容を知って頂ける機会を設定する。	A <ul style="list-style-type: none"> ・危険だったことを書き留め、会議等で共有したり、保護者にも手紙等で遊具の使い方を知らせたり、幼児が安全に遊具を使用できるようにした。 ・毎日の遊具点検をすることで、遊具によるケガを防止したり、ネジが緩んでいたり等の変化にもすぐに対応することができた。 ・ヒヤリハットを全職員が提出することで、安全な保育を実践することができた。 ・日頃から、園庭の遊具や保育室内の備品などの安全点検を行っている。 ・ヒヤリハット報告書作成の徹底と、日々の遊具点検に力を入れて取り組むことができた。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	教育方針・目標	教育方針・目標、目指す子ども像の共通理解を深める。
2	研修・研究への取り組み	アレルギー、自立の遅れなどについて、専門機関とも適切に連携しながら、教職員の理解を深めるよう取り組む。
3	安全管理体制の整備	緊急時（事故やけが、感染症の発生時など）の対応手順について、全教職員が共通理解をもてるよう取り組む。

V. 学校関係者の評価

- 年間を通してのいろいろな遊び、温水プールでの活動、そして砂場の安全性はとても優れていると思います。
- からだを動かすことがとても印象に残ったようで、プールで泳げるようになったこと、テニスが楽しかったことなどを良く話してくれます。
- 園での食育のお話が子どもにも興味を持てたようで、お話を聞いた日は必ず教えてくれました。苦手なものも少し食べられたと喜んでいました。
- 食育のおかげで偏食も無くなり、何でも食べられるようになりました。
- 家では「からだに良いから」と言ってしまうことを、幼稚園ではいろいろと教えてもらっているようです。子どもから話を聞き、親が学ばせてもらうこともありました。
- 大きな声で元気よく挨拶できるようになりました。
- 上の子も常盤幼稚園を卒園して現在小学生ですが、登下校中、町の方に挨拶する子になりました。常盤幼稚園の挨拶の取り組みは大きくなってきているんだと実感しました。
- 挨拶や服のたたみ方などをきちんと教えて頂き、しっかりとできるようになりました。
- さまざまな季節の行事を、きちんと説明して体験させてもらえたことで、子どもも理解した上で楽しめたと思います。
- 先生方の対応がとても親切丁寧で、一人ひとりをきちんと見ているのがわかり、安心して毎日子どもを見送っていました。
- 入園当初は友達の輪に入るのが苦手だったのですが、先生の声がけで幼稚園が楽しいというようになりました。
- 安全について細かな点まで徹底されていると感じています。
- 遊具などの安全に加え災害対策にも取り組まれており、安心して送り出すことができます。
- 挨拶や園の環境整備、安全対策などに、先生方全員で取り組んでおられると感じています。
- 家ではできない遊びを友だちと一緒に体験させて頂けたことで、今日はこれをつくった！こんな風にして遊んだ！と話してくれました。
- 自分たちで自由に何かを製作したり、友だちと相談するようになったりと、いろいろな好奇心を育てて頂きました。

以上